

社会福祉法人 伸こう福祉会
アニュアルレポート [2015年 4月]

ANNUAL REPORT 2015

SOCIAL WELFARE CORPORATION

伸こう福祉会

SHINKO FUKUSHIKAI

SHINKO FUKUSHI KAI DOES ITS UTMOST
TO PROTECT YOUR WELL BEING BY
CONTINUING TO FIND AND SERVE
YOU WITH THE VERY BEST

SHINKO FUKUSHI KAI ANNUAL REPORT 2015

本報告書では、社会的責任の国際規格 ISO26000 における7つの中核主題（下図）の視点を組み入れた構造で、皆さまへの報告を行っております。



主題と報告事項との関連については、P.30をご参照下さい。

MESSAGE FROM EXECUTIVE HEAD

2015年度も、各々がもつ「たくさんのよきもの」を集めて、「人生の先輩たちや後輩たち、そして地域」へ捧げていきます。

「和魂洋才」という言葉にもあるように、日本人は、世界の優れた知識や技術を学び、日本固有の精神と組み合わせることで、独自の文化を生み出し経済を発展させてきました。日本語の成り立ちを見ても、中国から伝わった漢字を平仮名や片仮名に派生させ、現代では外来語も当たり前のように使われています。

日本の介護保険制度も、元はドイツの介護保険制度を参考にしてつくられたといわれています。高齢化が顕著になっていた2000年に介護保険法は施行され、その時々で世情に合わせて改正を繰り返し、現在のものとなっています。

さて、既にニュースでも報道されているように、2015年4月、5年に一度の介護保険法の改正と3年に一度の介護報酬の改定が同時に実施されます。また、保育事業においても、「子ども・子育て支援新制度」が始まったりと、新たな対応が必要とされています。

そんな外部環境の変化に取り残されずにお客さまのニーズにきちんと応えていくためには、私たちも、これまで日本人がしてきたように、外部の様々な優れた知識や技術を取り込み、自らの精神と組み合わせて、新たな力を生み出していかなくてはなりません。国内外、多世代、様々な業種…各々がもつ「たくさんのよきもの」を集めて、「人生の先輩たちや後輩たち、そして地域に捧げていく」、私たちの基本理念は、そのような想いからつくられているのです。

日本は世界で稀に見るスピードで少子高齢化となっていて、いつの間にかその分野では私たちの前を進む国はいなくなりました。そんな「少子高齢化先進国」で福祉を行っていく私たちに、みなさまも「たくさんのよきもの」をこれからも与えて下さい。

2015年度も、引き続きのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 伸こう福祉会
理事長

足正聖子

理事長メッセージ ……P3

私たちの理念 ……P4

WHAT HAPPENED IN 2014 ……P6

1. 〈「人」づくり〉
たくさんのよきものを人生の先輩たち、
後輩たち、そして地域に捧ぐ
2. 〈新規施設の開所〉
新たな2施設の開所で、地域のお役に立つ
3. 〈社会とつながる〉
地域に向けた福祉の発信3ヵ年計画

CSRに基づく伸こう福祉会の取り組み ……P14

1. お客さまとともに
2. 地域社会とともに
3. ビジネスパートナーとともに
4. 自然環境の中で
5. スタッフとともに

財務ハイライト ……P28

ISO26000中核主題対照表 ……P30

メディア掲載一覧 ……P31

施設一覧 ……P32

PRINCIPLE

たくさんのよきものを人生の先輩たち、
後輩たち、そして地域に捧ぐ

私たちは、「保育」と「介護」という仕事を通じて、
お客さまの人生の「最初」と「最後」のお手伝いを
させていただいています。

2014年度より、これまでの基本理念に
「地域」という言葉を織り込みました。
社会福祉法人として今まで以上に
地域のお役に立っていきたいと考えています。

「たくさんのよきもの」を、
「保育」、「介護」、「地域」のお客さまに捧げることで、
その方がよりよい生活を送れるように。
私たちが目指す姿は、お客さまへ
「しあわせ」を提供できる人の集団です。



1 WHAT HAPPENED IN 2014

「人」づくり

たくさんのよきものを人生の先輩たち、後輩たち、そして地域に捧ぐ



1

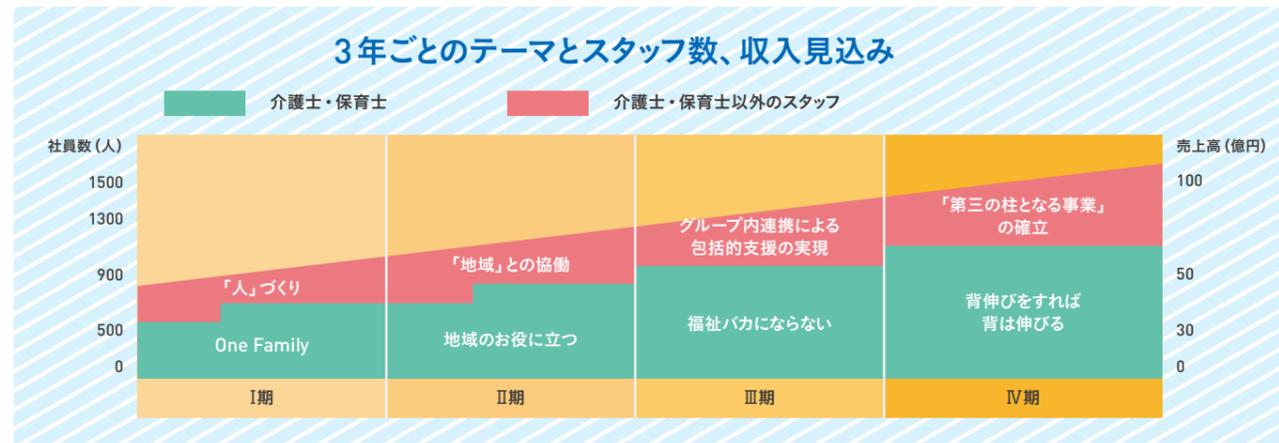
「中期計画」に基づいたテーマの設定

毎年度、常勤・非常勤を問わず全スタッフを対象に、法人の理念や守るべき約束、今期の実行計画や予算を記した「経営計画書」を配布しています。この経営計画書で、3年をひとつの区切りとし、それぞれの区切りごとに力を注ぐテーマを定めています（中期計画）。

中期計画I期にあたる2014年度のテーマは「人」づくり。

スタッフは常に「OneFamily」を意識して仕事をします。経営計画書（Plan）を基に、サービスを実行し（Do）、監査によるチェック（Check）の上、各会議体において、サービスの改善に励んでいます（Action）。

本アニュアルレポートは、「第17期 経営計画書」に基づき報告を行うものです。



2

2014年度の研修計画

伸こう福祉会では、入職期間・役職に応じた総合的な研修と、分野ごとのプロフェッショナルを育成する専門職別ミーティングを実施し、それぞれの経験を持ちより、意識や知識の向上を行っています。研修費用の一部は助成金収入で補われ、それぞれの研修では、研修後に研修報告書を記入し、年度末にアンケートを実施することで理解度と満足度を測り、今後の改善に役立てています。



新入職カレッジ	法人の基本理念や品質目標の理解及び今年度の重点項目についての理解を深める
新卒向けカレッジ (介護スタッフ・保育士共通)	1年間を通じて介護スタッフ・保育士ともに基礎としておさえておくべき必要なテーマや社会人として必要な知識を学ぶ
新卒向けカレッジ (介護スタッフ)	介護スタッフとして必要な基礎知識や介護保険制度等の社会常識を学ぶ
新卒向けカレッジ (保育士)	保育士として必要な知識を学び、実際の現場で研修を行う
看護師向け研修	看護師に必要な基礎知識を習得する (本年度の主な内容) 感染症に関する知識の習得
管理者向けカレッジ	リーダー職以上を対象に、専門分野の知識向上やコミュニケーション・マネジメントについて学ぶ (本年度の主な内容) 事故防止対策を中心に非常勤職員も対象含めたりスクマネジメント研修

3

働きやすい職場環境をつくる

スタッフが心身ともに安心・安定して長く働ける職場環境づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。そのうちのひとつが、全常勤スタッフが年間を通して最大10日間の連続休暇を取得できる「クロスハートバカンス」制度です。今期の取得率は80%であり、来期も高い取得率を目指しています。また、子育て中のスタッフを支援できるよう、施設内にスタッフ向け「事業所内保育所」を設置しています。事業所内保育所は「クロスハート幸・川崎」に加え、今年度は新たに「クロスハート湘南台二番館」に設置されました。事業所内保育所を用意することで産後のスタッフも安心して職場に復帰でき、子どもが比較的小さなうちから育児と仕事の両立を図ることができます。今後は、スタッフの意見・要望を参考にしながら更なる支援体制の改善に努めていきます。

また、「OneFamily」をより意識し、楽しい職場となるよう月に1度、スタッフのバースデーツアー「大人の遠足」を開催しました。目的は、箱根、お台場、スカイツリー等毎月違う場所で、介護・保育スタッフの垣根を超えて交流する「大人の遠足」は、好評を得て、来年度も継続する予定です。



2

WHAT HAPPENED
IN
2014

新規施設の開所

新たな2施設の開所で、
地域のお役に立つ



クロスハート湘南台二番館

1



介護付有料老人ホームにショートステイ、 デイサービス、施設内保育所を併設した クロスハート湘南台二番館

お元気な方から介護を必要とする方まで、身体の状態に合わせた利用が可能な介護付有料老人ホームを開設しました。ご利用者の自立を支援できるよう、機能訓練指導員が常駐し、食事・排泄・入浴など、生活に根差した動作の機能訓練指導を行うほか、エントランスにはフィットネスコーナーを設け、いつでも自由に利用することができます。また、入居された後も地域との交流を継続できるよう、施設内のホールと会議室を地域住民に開放し、彼らが行うイベントやサークル活動にご利用者が参加したり、カフェスペースで自由に交流したりすることで、社会参加を支援します。子育て中のスタッフを支援する施設内保育所を併設しているため、世代間交流ができることも大きな特徴です。

事業形態/①介護付有料老人ホーム②ショートステイ③デイサービス
④施設内保育所 所在地/藤沢市円行 開所日/2015年3月1日
定員/①80名②10名③30名④30名

2



川崎市、味の素株式会社と協力した まちの保育園 キディ鈴木町・川崎

待機児童解消を目指す川崎市、味の素川崎工場が設立100周年を迎え、地元の方へさらなる貢献を目指す味の素株式会社、そして伸こう福祉会の三者が協力し、キディ鈴木町・川崎を開設します。園舎は、自然のやさしさや家庭のぬくもりを感じられる自然感あふれるあたたかみのある木造づくりのデザインにしました。地域の方が積極的に保育園の活動に参加する機会を設け、地域の方、園児のご家族、スタッフの三者が一体となり、まちぐるみで子供を育てるしくみ「まちの保育園」を基本コンセプトに、一人一人の子どもとしっかりと向き合い、その子の個性を尊重し自立できる子どもに育てるキディスタイルを融合させ、さらに新しい「木育」、「食育」、「スポーツプログラム」等の新たな試みを取り入れながら、愛される保育園を目指します。

事業形態/認可保育園 所在地/川崎市川崎区
開所日/2015年4月1日 定員/90名

3

WHAT HAPPENED
IN
2014

社会とつながる

「福祉の発信3ヶ年計画」

SHINKO FUKUSHIKAI 2012 → 2014

私たちは、「保育」と「介護」を通して具体的な問題解決ができるよう努めていますが、現在のご利用者のご家族だけでなく、地域の潜在ニーズに応えていくことも、大きな役割のひとつだと考えています。

「福祉の発信3ヶ年計画」は、少子高齢化が急速に進むなかで、より多くの方に現状や問題点を知り福祉を考えるきっかけを提供することを目標に、3つの段階で「それぞれの壁を越えたつながりと学び」を目指しました。

今後もこうした発信を継続することで、「福祉」が特別視されず、地域全体で困っている人を支えていける社会づくりに少しでも貢献できるよう、挑戦していきます。



1 第1ヶ年：サービスを提供する側、 受ける側の壁を越えてつながる

ミュージカル「Beautiful Life」公演

2012年6月、福祉施設を舞台に介護の現場を表現したミュージカルを上演。スタッフ、ご利用者のご家族、取引先企業の方たち一般総勢200名が演者を務め、オリジナル脚本や監修監督を行うプロと手を組み、観客2,200名を動員しました。施設の壁を越えて職員の連携が深まっただけでなく、ご利用者と一体感を分かち合うことができ、また観客アンケートでは、「介護を初めて身近な問題だと感じた」「やりがいのある仕事」等の反響がありました。



3 第3ヶ年：福祉事業の壁を越えてつながる

3ヶ年を締めくくる“ビジネスと福祉”講演会

2014年11月、講演会「ビジネスと福祉」を開催しました。地域や家族のかたちが大きく変化し、ニーズが多様化している現代で福祉を行っていくには、福祉もそれ以外のビジネスと同様、求められていることを的確に捉え、その中で自分たちが得意とすることを選択し、戦略的な対応をする力が必要です。「福祉の発信3ヶ年計画」の仕上げとして、私たちはビジネスの最新の潮流と戦略を学ぶことを企画しました。ビジネス、福祉の分野でそれぞれ著名な講師をお迎えし、催しには、福祉関連事業者、学生、一般を含む114名が足を運んでくださいました。第一部では、本格経営書として異例のベストセラー『ストーリーとしての競争戦略』の著者、一橋大学教授楠木建氏より、「競争戦略とイノベーション」についてお話をいただきました。競争戦略で最も大切な要件は、時間軸に並んだときにワクワクするようなストーリーがあること、経営理念を見つめ直し、競争の優位性をどこに置か改めて考えてみるのが重要、など、難しいテーマにも関わらず、わかりやすい言葉とソフトな語り口で会場はなごやかな雰囲気になりました。第二部では、「シルバー新報」編集長として政策や現場の動きを取材し、最新の情報に明るい川名貴子氏が、第一部を受けて、福祉・介護・医療での戦略的な取り組みやトレンドをご紹介くださり、「戦略の重要性」をより詳細にイメージし理解することができました。これまで福祉になじみのなかった方も、福祉事業者も、「戦略」という共通の視点で福祉の仕事をとらえなおすことで、「福祉は特別」という固定概念ではなく、その入り口は身近にあることに改めて気付くことができました。

実施概要

日時：2014年11月7日（金）
場所：川崎商工会議所2階KCCIホール

2 第2ヶ年：国や文化の壁を超えてつながる

世界と学び合う“国際福祉サミット”

2013年11月、日本を含め9か国の福祉スペシャリストを招いて、2日間にわたるサミットを開催しました。介護サービスでは国際交流の場が少ないため、それぞれの専門分野の実例に基づいたプレゼンテーションと討論は、日本と世界の福祉について、知識と経験を互いに学び合う貴重な機会となりました。国境を越えて良いものを共有しようという呼びかけに、医療・福祉関係者、学生や一般を含め733名が参加されました。この催しによって、福祉スペシャリストの間に私たちの予想を超えた絆が生まれ、「サミット」は今後海外でも継続して行われる予定です。



SHINKO FUKUSHIKAI

CHALLENGE

日本で、そして世界で
伸こう福社会の挑戦を
評価していただきました。



2014年、日本と世界、両方のスケールで伸こう福社会のあり方が評価され、大きな賞をいただくこととなりました。

8月に、5千社を超える日本企業のなかから、船井総研グレートカンパニーアワード大賞に選出される栄誉を得ました。「世界も評価する革新性で挑戦を続ける介護業界のリーダー」として、創設当初から現在に至るまで、一貫して常識にとられない新しいモデルの創造に取り組んできた点が評価されたものです。具体的には、企業とのコラボレーションによる製品開発、国際福祉サミットや研修などの海外との連携、スタッフやその家族やご利用者まで巻き込むミュージカルの公演などが挙げられます。

世界スケールでは、2012年に創業者片山ます江（現専務理事）が優れた社会起業家として日本で初めてアショカ・シニアフェローに選ばれたのに続いて、片山ます江ならびに足立聖子（理事長）がシュワブ社会起業家2014に選出されました。9月に、中国・天津で開催された世界経済フォーラム「サマーダボス」に参加し、シュワブ財団が主催する「ダボス会議」を通じて、世界のリーダーたちとネットワークがつながり、世界の問題解決に役立つことが期待されています。

様々な活動やこうした評価から新たなネットワークが生まれ、海外からの見学や研修も増えています。互いに学び合う場として今後もこうした機会を拡充していきたいと考えています。



オーストラリアより研修生が来日



中国より視察団が来日



シュワブ社会起業家 世界経済フォーラム「サマーダボス」にて



一般社団法人船井財団が主宰する「グレートカンパニーアワード」にて大賞を受賞



IN THE WORLD

CSR
に基づく **伸こう福祉会の取り組み**
(CSR=Corporate social responsibility: 企業の社会的責任)



CSR WITH **お客さまとともに** (CUSTOMER)

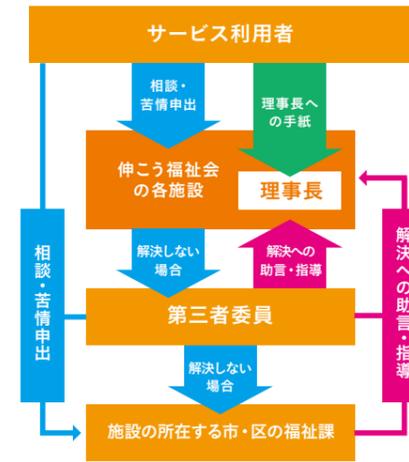
昨日より今日、今日より明日、よりよいお手伝いができるようにそれが、伸こう福祉会のサービスのかたちです

お客さまの声を運営に活かすために

社会福祉事業の提供者は、「提供する福祉サービスについての苦情」の適切な解決に努めなければならないと社会福祉法第82条に定められています。「お客さまの声」は、私たちにとって、そして福祉制度にとって、サービスをより良くするための一番の薬です。そのため、私たちはお客さまが気軽にご意見やご要望、苦情などを話していただけるよう、普段からの関係づくりに努めています。

「理事長への手紙」BOXの設置

スタッフや施設、法人に対する要望や意見など、ご利用者やご家族をはじめとしたお客さまが理事長宛にダイレクトに伝えたいことを投函できるBOXを各所に備え付けています。BOXは月に1度、法人外経由で中身を回収し、理事長の元へ届けられます。頂いた貴重な声は、サービスの向上に役立てています。



ご家族が運営主体となり施設と関わる「家族の会クロス」

「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」には、現在または過去にクロスハートをご利用された方のご家族が運営主体となり、会員同士の親睦・知識向上・相互扶助を目的とした会「家族の会クロス」があります。本会は、年に1度行う「報告会(総会)」を始め、年2回の「意見交換会」、横浜市社会福祉協議会の福祉バスを利用した「バスハイク」、「クロスハートフェスティバル」(クロスハート栄・横浜で毎夏行うお祭り)へのバザー参加、ご利用者の繕い物など、様々な場面で活躍しています。



理事長への手紙 BOX

家族の会クロス 会長 山崎 均様より

肉親を施設に入居させた家族は、専門家に介護をお願いしているという安心感と同時に、本来自宅ですべきことを他人任せにして良いのか、という思いに悩まされます。それぞれの家族で事情は異なりますが、入居した親族、そして施設との関わり方にとまどうことは共通の悩みです。このような悩みを一人で抱え込むことなく、同様の悩みを抱えた家族同士が気楽に話し合い、悩み事の相談や意見の交換が出来る場を作ろうという目的で「家族の会クロス」が生まれました。設立から13年経っても設立当初の想いを継承し、いろいろな行事を通じて、入居者や施設のお役に立てるよう努めてまいります。

ISOを通じた基準の整備

よりよいサービスをお客さまへ提供するための仕組みをつくり、第三者の目線で評価をしていただくため、各施設で品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証を取得し、更新を重ねています。2015年1月19・20日には、定期審査(サーベイランス)が行われました。

最期の時間をクロスハートで過ごしていただく

看取りの取組み

平成26年度に厚生労働省がまとめた「終末期医療に関する意識調査等検討会報告書」によると、人生の最終段階状況[認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合]、どこで過ごしながら医療を受けたいか、という問いに対して、一般国民の回答は、介護施設(59.2%)、医療機関(26.8%)、居宅(11.8%)となっています。また、厚生労働省「人口動態調査」によると、2012年に亡くなった高齢者(65歳以上)の死亡場所として、病院・診療所が約8割と大半を占めている状況にあります。それ以外では、自宅が11.8%、老人ホーム(特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等)が5.3%、介護老人保健施設が2.0%と続いており、いずれも少数にとどまり、一般国民の希望とは一致しない傾向にあります。

厚生労働省は、増加する看取りの受け皿として、医療機関の病床増ではなく、在宅や介護施設等での看取りを増やすことで対応していく方針を示しています。

伸こう福祉会の介護施設では、ご家族が病院での治療を望まず、施設での最期の時間をご希望されたとき、施設内で看取りを行います。医療機関ではないので、介護はできても治療はできません。施設でできること、病院でなければならないことなどを何度もご本人やご家族、介護スタッフや専門職で話し合い、同意書を結びます。

在宅看取りを支える小規模多機能型居宅介護、複合型サービス

伸こう福祉会は、小規模多機能型居宅介護事業所(3施設運営)及び複合型サービス事業所(1施設運営)を、在宅で暮らす高齢者にとって安心して最期を迎えられる「看取り」の場として提供できるよう、サービス体勢を整えています。特に看護師が配置されている複合型サービスは、介護と看護の一体的な提供により、医療依存度の高い方であっても、住み慣れた地域の中で最期を迎えることが可能です。

今後、スタッフの更なるスキルアップを図り、ご本人及びご家族のご希望に沿い、施設内での看取り、在宅での看取りに対応していきたいと思っております。

「追悼の会」で亡くなられたご利用者を偲ぶ

「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」では、毎年11月に、お亡くなりになったご利用者を偲ぶ「追悼の会」を開いています。本会は、ご家族や関わったスタッフ(異動したスタッフ含む)が集い、ご利用者と過ごした思い出を、映像とスタッフからの感謝の言葉で振り返り、献花と祈りを捧げています。参加をされたご家族からは、「亡くなったらそこで関係が終わり」ではなくて嬉しい、「時間が経つと薄らいでしまう思い出を、この日に語り合うことで思い出せる」という言葉を頂いています。

施設内にある「メモリアルルーム」の壁面には、開所時から現在に至るまでのお亡くなりになった方の名前が刻まれ、スタッフが自身の仕事を振り返る場所としても機能しています。

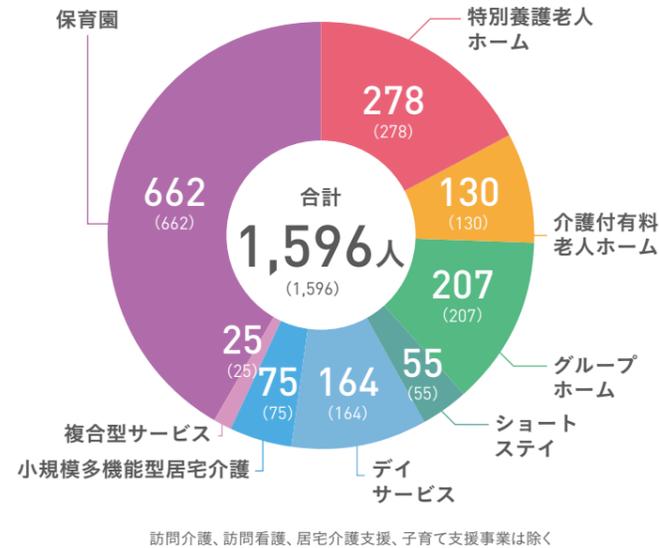
終末期のご利用者やご家族は、スタッフに様々な気づきや学びを与えて下さいます。私たちはそれを真摯に受け止め、「クロスハートでの最期の時間」を選んで下さったご利用者のご家族に感謝をしつつ、お手伝いをさせていただきます。



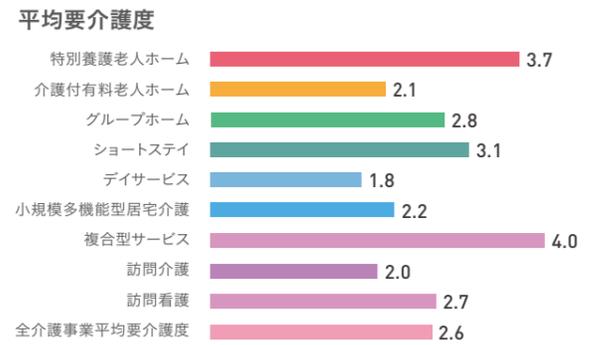
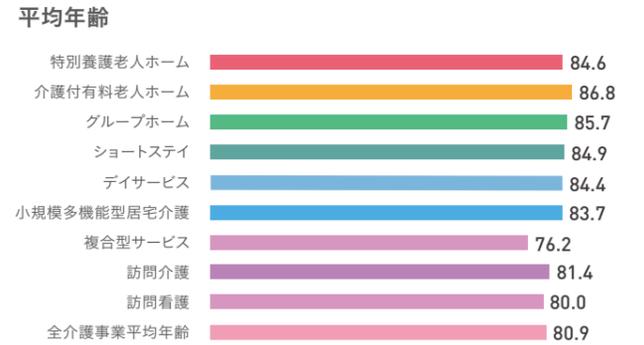
DATA

2015年1月末現在 ()内は昨年度の数字

事業毎のご利用者定員数

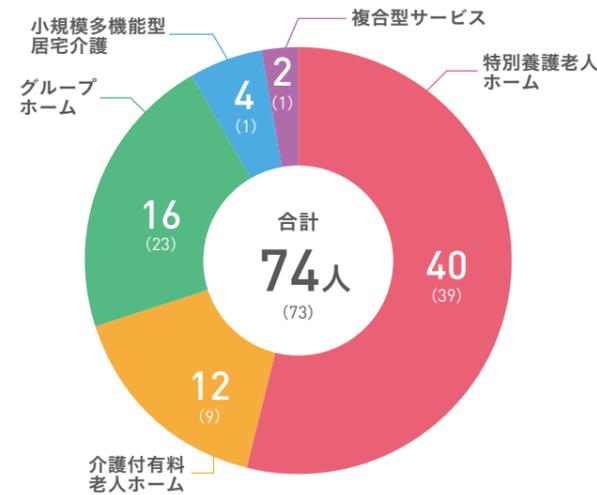


介護事業の平均年齢・平均要介護度

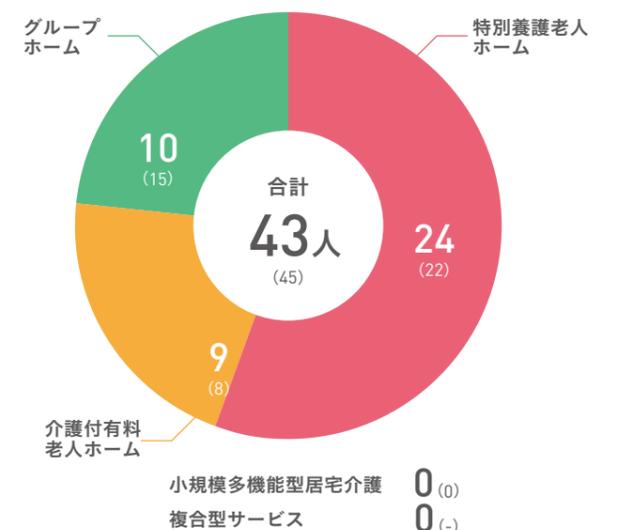


要支援1=0.375、要支援2=1で算出。
介護付有料老人ホームの自立利用者は11.5%(平均要介護度には含まれず)。

今年度亡くなられたご利用者の人数



その内、施設内で看取りケアをさせていただいたご利用者



私たちが今日ここで仕事ができるのは、
すべて地域のご理解とご協力によるものです
そのご恩に報いるためにも、地域のお役に立てる機会は逃しません

社会福祉法人としての更なる取組み

社会福祉法人とは、社会福祉事業を行うことを目的に設立された法人（社会福祉法第22条）です。社会や地域のニーズに応えるために創立され、社会福祉法人の事業そのものが地域貢献の役割を果たしています。しかし、近年の経済・雇用情勢の変化に伴い、住まい方（高齢者のみ世帯や核家族化）の変化や雇用形態の多様化による新たな地域ニーズが発生しています。その新たな地域のニーズに対応するため、法人では「更なる取組み」を行っています。



クロスハートホール

交流スペースの設置

特別養護老人ホーム「クロスハート幸・川崎」には、地域の方が自由に出入りできる「カフェコーナー」や「図書コーナー」を広く設けています。また、2015年3月に新たに開所した介護付有料老人ホーム「クロスハート湘南台二番館」では、最大100名を収容できる「クロスハートホール」や「集会室」を開放し、地域の方にセミナーやサークル活動で活用してもらいたいと考えています。

こうした居場所づくりを行うことで、地域の方に、普段あまり足を踏み入れることのない「老人ホーム」をもっと身近に感じてもらうと同時に、ご利用者がホームに来た地域の方と触れ合うことで、入居しながらも社会参加をすることができるという、双方の効果を期待しています。



総合案内所の設置

法人を身近に感じてもらい、困った時に気軽に相談できる存在となることを目指し、横浜市内に介護総合案内所を設置しました。介護、福祉に関するあらゆる相談に応じ、「困っているけれど、どこに相談して良いのかわからない」方への道しるべとして、ご利用いただいています。今年度の相談数は約20件で、利用者の手助けとなるとともに、地域の新たなニーズを掘り起こし、法人の地域貢献への「更なる取組み」の一歩となっています。

6月	クロスハート野七里・栄	ランチ会	10名
	クロスハート幸・川崎	ランチ会	10名
	クロスハート港南・横浜	ランチ会	3名
7月	クロスハート金沢・横浜	ランチ会・セミナー	13名
	クロスハート二階堂・鎌倉	ランチ会・セミナー	10名
	クロスハート南・横浜	ランチ会・セミナー	9名
	クロスハート十二所・鎌倉	ランチ会	9名
	クロスハート鶴見・横浜	ランチ会	3名
8月	クロスハート湘南台・藤沢	ランチ会	10名
	クロスハート湘南台・藤沢	ランチ会	8名
9月	クロスハート湘南台・藤沢	ランチ会	6名
	クロスハート湘南台・藤沢	ランチ会	6名
10月	クロスハート野七里・栄	セミナー	5名
11月	クロスハート宮前・川崎	芋煮会	12名

ランチ会・セミナーの開催

利用者の家族、ケアマネジャーをはじめ地域の方を対象に、施設において入居者と同じメニューの昼食を試食するランチ会を開催しました。各施設を会場に、地域の交流の場を提供し、法人のサービスについて詳細に知っていただく場となりました。また、「認知症を考える会」などのセミナーを行い、地域のつながりをより強いものにする取組みも行っています。



キディ鶴沼・藤沢の子育てひろば

「キディ鶴沼・藤沢」では、地域の保育園として、地域の子供やその家族に保育園に遊びに来てくれるよう子育て広場を開催しています。一日に25～26組の親子にご利用いただき、地域の保育園として、保育者と子供に積極的に関わっています。これらの活動は、親子の居場所をつくり、また地域と助け合える関係を築き、災害時に備えた取組みといえます。



地域を巻き込んだイベント

伸こう福祉会の各施設では、定期的に近隣地域を巻き込んだイベントを行っています。介護付有料老人ホーム「クロスハート石名坂・藤沢」では、開所してから毎年、スタッフが育てているバラが満開になる5月に「ローズパーティー」を開き、地域の方も呼び寄せて交流会を開いています。その他、野菜を育てている施設ではそれらを使ってささやかな料理を振る舞う「ガーデンパーティー」を、「クロスハートフェスティバル」として地域の方に出席してもらおう施設もあります。

CSR

WITH
ビジネス
パートナー
とともに
BUSINESS PARTNER

お客さまへよりよいサービスを目指すうえで、お取引先の力は
欠かせません。法人が大切にしている理念・方針を共有しながら、
公平・公正な取引を徹底し、ともに成長をしていきます。

公平・公正な取引の徹底

私たちは、伸こう福祉会のサービスを支えて下さる協力会社やお取引先など、さまざまなビジネスパートナーとの信頼関係を大切にしながら、相互の価値向上を目指していき
たいと考えています。

契約にあたっては、「JIS Q 9001:2008 品質マネジメントシステム 要求事項」に即して
作成している法人内規定「品質マニュアル」及び「稟議規定」に基づき、関連法規を遵守
した公正公平な取引の実現に努めています。また、すべての委託先、購買物品について
は、品質レベルを評価・確認し、1年毎に一括して認定の継続を検討しています。



理念・方針の共有

伸こう福祉会が開催する各種イベントや施設の見学、新たに施設を開所する際に開催
しているレセプションにもご招待させていただき、私たちの理念・方針をご理解いただけ
るよう取り組んでいます。



経営計画発表会



クロスハート湘南台二番館開所式

ビジネスパートナーとの協働の事例

伸こう福祉会では、ビジネスパートナーと協働し、よりよい福祉サービスの提供・商品の開発を進めています。本報告書では、パー
トナーの技術と法人の経験により開発された商品についてご紹介いたします。



高齢者に快適な眠りをもたらす寝具「pasem (パセム)」 株式会社ハッチ

一日の生活をベッド上で過ごすことが多い要介護度の重い高齢者へ快適な睡眠
環境を提供したいと、2010年から介護用寝具として開発を始めました。施設内で
モニタリングをし、試作を重ね、2013年に生地がしわになりにくく、サイドの布を
マットの下に差し込むだけでセッティングできる、高齢者にも介護者にもやさしい
「ウイングシート」が完成し、共同ブランドpasem (パセム)の誕生となりました。
現在はpasem (パセム) ブランドの枕の開発に取り組んでいます。3つの中材を
組み合わせて高さや固さを調整できる「ミルフィーユピロー」について、商品化に
向けて改良を重ねています。



人感センサーでやさしく見守る離床センサー「ルナナス」 株式会社日本アレフ

ベッドからの転倒・転落の危険予知のため一部のご利用者へ離床センサーを導
入していますが、ご利用者によって最適なセンサーのタイプは違います。伸こう福
祉会ではこれまでマットタイプを多く導入していましたが、中にはマットが気になり
避けてしまう方もいます。「ルナナス」は、ベッド上の行動を非接触で検知するた
め違和感を覚えにくく、居室に設置しても空間デザインを壊しません。(2014年
グッドデザイン賞受賞)

現在、「ルナナス」を他の介護施設や病院でも導入しやすくするため、導入時に助
成金を頂けるよう厚生労働省に申請をしています。



オンライン介護記録管理システム 株式会社グローバルインターフェース

クロスハート幸・川崎では、施設に入居された方々のバイタル、食事量、服薬情報
などのサマリーを担当スタッフがiPadなどのタブレット端末をパソコンと連動させ
て管理しています。ご利用者のケアを行った直後にiPadを用いて記録を入力し、
集計したデータをパソコンで分析することで、ご利用者の日々の健康状態を日々
管理し、体調の変化にいち早く気付くよう取り組んでいます。

また、施設内の情報共有もiPadを通して行うことができます。現在はまだ開発中
のため商品化はされていませんが、このシステムに多言語の機能を持たせ、外国
籍のスタッフの多くが戸惑う記録についてのバリアフリーを目指しています。

CSR

IN

自然環境
の中で

NATURAL ENVIRONMENT

「人生の先輩たち」から預かった自然環境を損なうことなく
「人生の後輩たち」へ残していくためには、事業活動のあらゆる面で、
地域環境を守る活動に努めなければなりません

自然環境と調和したキディ鈴木町・川崎



2015年4月に開園する認可保育園「キディ鈴木町・川崎」は、木質系をはじめとする自然素材を使用し、自然環境や周辺景観に調和したデザインとなっています。木造でできた園舎は、冷暖房を使用しなくても夏は涼しく冬は暖かく、視覚的にも感覚的にも癒しや温もりを演出できる仕様です。素材からくるその柔らかさは、転倒によるダメージ軽減の効果も期待します。また、幼児期から「木材」に触れ合えるという利点を活かし、自然や環境に対して興味を持ち、鋭い感性を育む「木育」を保育プログラムに取り入れられるよう、取り組んでいます。

地域のクリーン活動



伸こう福祉会は、地域とのつながりを大切にし、通常の業務としての施設周辺の清掃を行う以外に、2014年よりビーチクリーン活動に地域社会の一員として参加を始めました。ビーチクリーン活動とは、公益財団法人かながわ海岸美化財団の趣旨に賛同し、横須賀市走水海岸から湯河原町湯河原海岸までの約150キロメートルの自然海岸の美化を目的に行うものです。保育園「キディ湘南C-X」が中心となり、法人スタッフ、園児、ご家族、お取引先の方々とともに、近隣の「片瀬海岸」の清掃を行いました。今年度は、「キディ鶴沼・藤沢」と合同での活動を開催し、延べ104名が参加しました。

また、「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」では、月に1回、地域清掃の日を決め、施設近隣地域の清掃（草むしり、枝きり、ゴミ拾い等）を行っています。「人生の後輩たち」に美しい環境を残すため、これからも積極的にクリーン活動に取り組んでいきます。



CSR WITH
スタッフ
とともに
STAFF

私たちは、国籍や性別、年齢、雇用形態、障がいの有無、様々な前職などの違いを越えた多様な「個性」が集い共に成長していく場所を「会社」だと考えています

スタッフによりそう

こころとからだの電話健康相談

2014年に独立行政法人「労働政策研究・研修機構」がまとめた「メンタルヘルス、私傷病などの治療と職業生活の両立支援に関する調査」によると、うつ病などメンタルヘルスの不調で会社を退職した社員の42.3%が、休職制度の利用中や職場復帰後に退職しています。疾病別の退職率の平均値をみると、最も高い「がん」(42.7%)について、「メンタルヘルス」(42.3%)が高く、がんによる休職は50代以上の割合が高く、定年などの病気以外の理由による退職も多数含まれていると見られ、病気を直接の原因とする退職率はメンタルヘルスが最も高い、と考えられています。

伸こう福祉会では、こうした社会的事象を鑑みて、「こころとからだの電話健康相談」のポスターを制作し、各施設に掲示するとともに、法人内窓口を設置しました。



社内報「Moment」の発行

伸こう福祉会では、四半期に一度、社内報「Moment」を発行しています。紙面では、法人の経営方針や課題、価値観など、スタッフと共有したいことを伝えたり、その時々「旬」なスタッフを取り上げて紹介したり、各事業所のイベント情報を掲載したり、と、社員間のコミュニケーション促進のツールとして活用しています。

また、「理事長への手紙」BOX (P.15 参照) を利用して、スタッフから直接理事長へ宛てたメッセージを受ける他、不定期にメールマガジンを流し、経営チームとスタッフ、双方向のコミュニケーションを図れるよう取り組んでいます。



同職種間の連携強化を図る

1 施設あたりの配属人数が少ない各専門職たちの連携強化と専門スキルの向上を目的に、施設単位を越えた法人全体での職務別ミーティング(会議および専門研修)を強化しました。その中でも、今年度はナースミーティングとケアマネミーティングに重点を置き、スタッフの健康管理として腰痛、メンタルヘルス研修、身体拘束/虐待というテーマで研修を行いました。

ナースミーティング

対象：看護師及び准看護師資格取得者

主な研修内容

テーマ	講師	参加人数
メンタルヘルス (職場のパワーハラスメント)	毛利陽子先生	14名
衛生推進者研修	中央労働防止災害協会	66名
感染防御	横須賀市うまち病院 感染管理認定看護師 梅村裕子先生	30名
職員の健康管理 腰痛予防対策	中央労働防止災害協会/日本ノーリフト協会 保田淳子先生	22名

ケアマネミーティング

対象：介護支援専門員資格所得者

主な研修内容

テーマ	講師
精神科へのかかり方、 かぞくの支援	栄聖仁会病院 MSW (医療ソーシャルワーカー)
会議テーマ	
身体拘束/虐待 事業別ケアプラン勉強会/事例検討	

2014年度入退職者数

	入職者		退職者
	新卒	中途	
2013	35	309	197
2014	13	296	183
2015 (予定)	32	-	(-)

2015年1月末現在





インターナショナルクラブ



多様なスタッフたちと共に働く

日々変化する社会情勢、それに伴い多様化するお客さまのニーズに応えるため、人材のダイバーシティに配慮した組織風土づくりを目指しています。スタッフが持つ様々な背景の違いが不利にならないよう尊重して受け入れ、その「違い」を積極的に活かすことにより、全スタッフが持っている能力と可能性をフルに発揮し、組織のパフォーマンスを向上させています。

現在、65歳以上のスタッフは128名(12.6%)、外国籍のスタッフは40名(3.8%)、障がいを持つスタッフは22名(2.2%)働いています。伸こう福祉会では、満70歳を定年とし、健康状態などを考慮したうえで、定年後も働くことを希望するスタッフは再雇用し、最長80歳まで継続雇用することを就業規則に組み入れています。

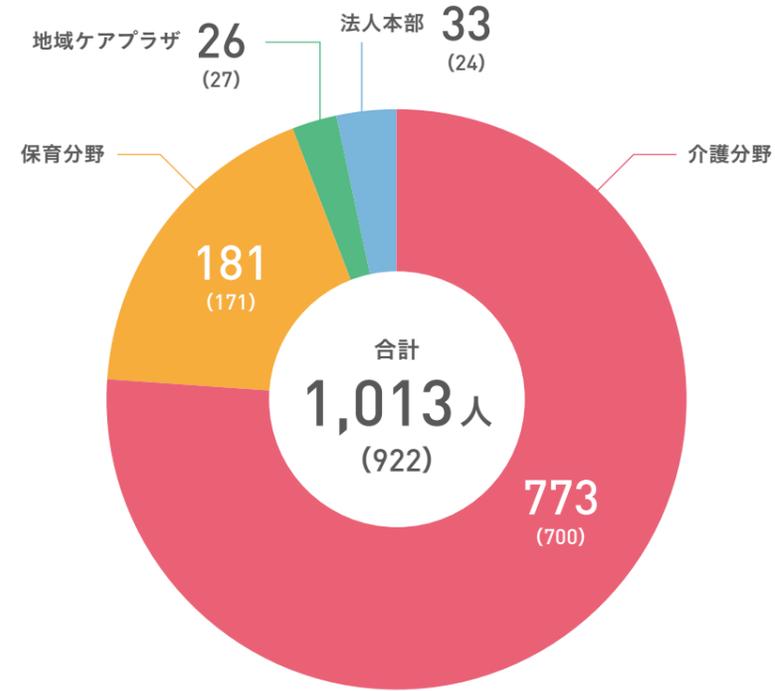
今期80歳で定年退職を迎えるスタッフは1名。新たに入職する高齢スタッフからの相談に応じてもらうこともありました。また、内外の国際的な要請に応えることを目的に発足した国際業務推進室は、外国籍スタッフの支援が役割の大きな柱の一つです。今年度は、「インターナショナルクラブ」の枠組みで、「法人の成り立ちと理念、日本の介護保険制度、認知症の基礎」といった情報を、英語・中国語・スペイン語の通訳支援を交えて確認する基礎研修を行う一方、同じく3か国語で発信するニュースレターの発行を開始しました。障がい者雇用では、持っている障がいの特性に応じた仕事をふり分けているため、健常者との給与の差は設けていません。能力によっては、常勤として採用しているスタッフもいます。

他にも、福祉職以外の経歴や一風変わった趣味を持つスタッフも多く、こうした多様なスタッフたちがコミュニケーションを深めることにより、全員が「違いは強み」だと感じられる組織作りを一層強化していきます。

DATA

2015年1月末現在 ()内は昨年度の数字

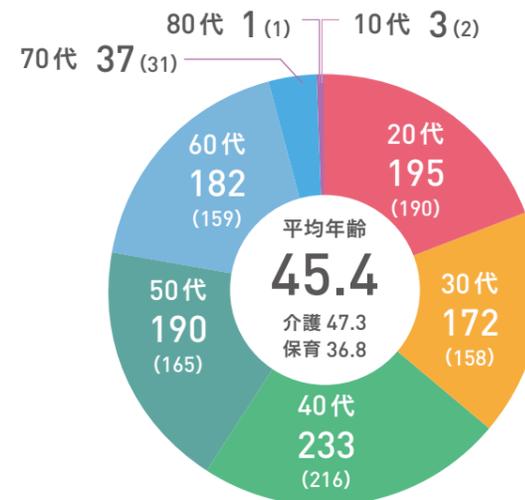
分野毎のスタッフ人数



各種資格所有者の人数

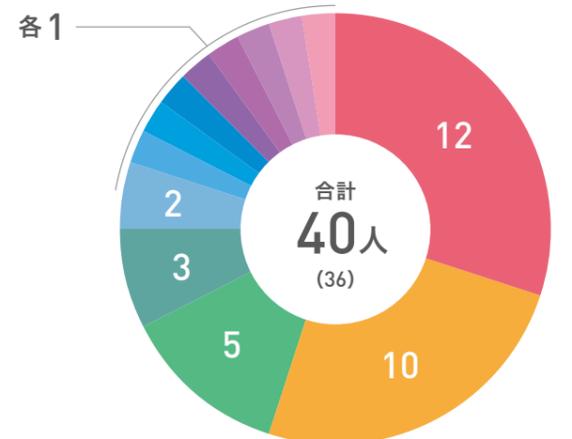
介護福祉士	146 (125)
介護支援専門員	64 (68)
社会福祉士	9 (10)
栄養士	17 (14)
管理栄養士	9 (9)
歯科衛生士	2 (2)
看護師	68 (59)
保健師	3 (1)
理学療法士	3 (2)

スタッフの年齢割合



外国籍スタッフの国別人数

- ベルー
- ベトナム
- 台湾
- スウェーデン
- フィリピン
- アルゼンチン
- タイ
- 中国
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ブラジル
- パラグアイ
- ドイツ

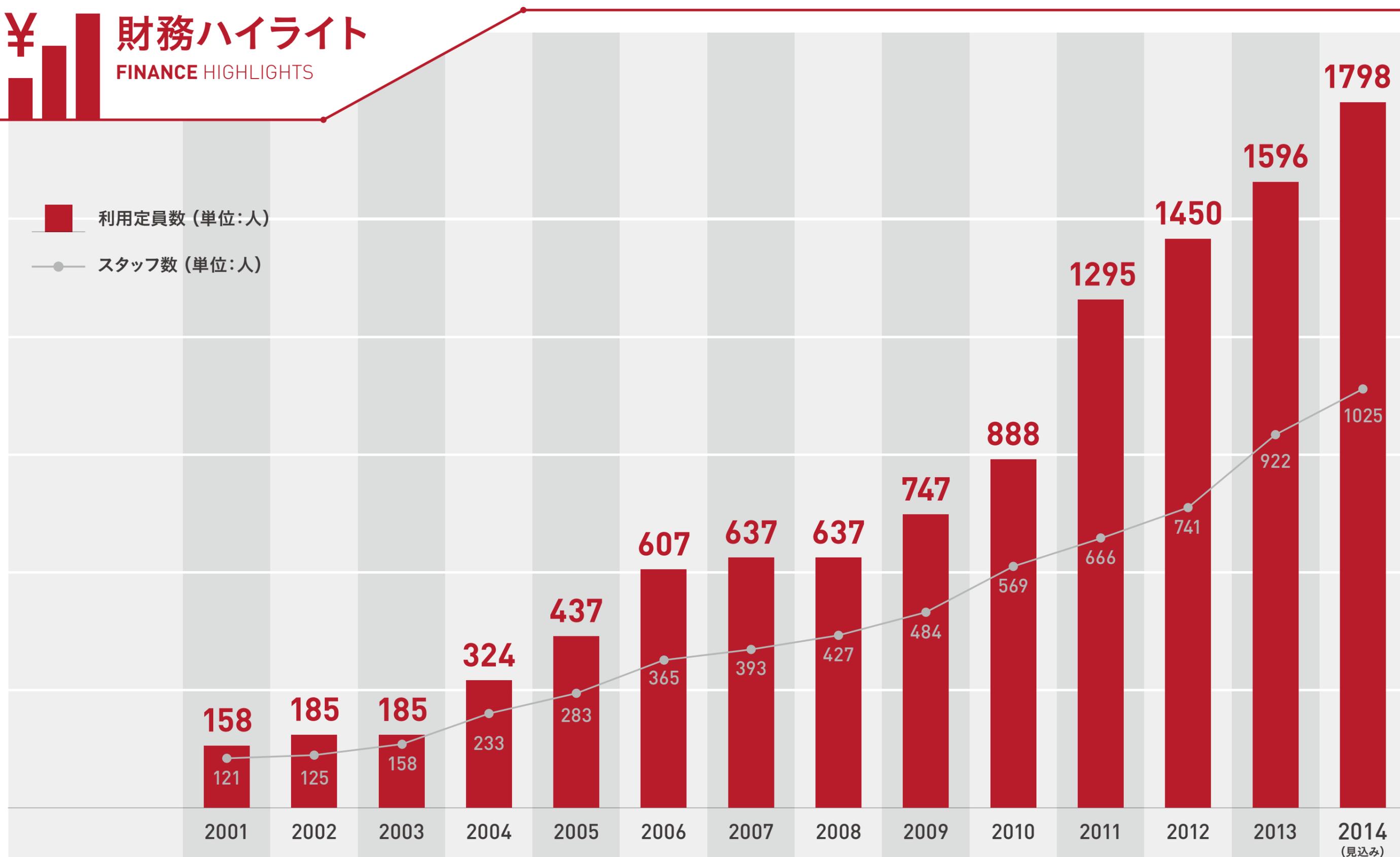


財務ハイライト

FINANCE HIGHLIGHTS

■ 利用定員数 (単位:人)

● スタッフ数 (単位:人)



	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 (見込み)
事業活動収入	686,358	724,141	865,272	1,018,566	1,364,870	1,748,569	2,003,084	2,140,262	2,474,827	2,815,159	3,465,515	3,923,530	4,649,121	4,836,000
事業活動収支差額	82,341	102,442	121,392	15,603	53,460	123,121	210,197	201,767	297,481	147,559	263,723	298,720	52,656	78,000
総資産	2343,153	2,363,285	2,426,102	2,837,072	3,569,010	3,727,951	3,685,192	4,874,193	4,755,517	5,378,950	5,819,663	8,799,773	7,986,387	8,207,743

(単位:千円)

ISO26000 中核主題対照表

本報告書では、社会的責任の国際規格ISO26000における7つの中核主題の視点を組み入れた構造で、皆さまへの報告を行っております。

中核主題	課 題	取り組み項目	掲載ページ
組織統治		理事長メッセージ	P.3
		伸こう福祉会の基本理念	P.4-5
		中期計画	P.6
		経営計画書の発行	P.6
		コーポレート・ガバナンス	P.6
		CSRの考え方	P.14
		経営計画発表会	P.20
人 権	デューデリジェンス	スタッフの多様性	P.26
	人権に関する危機的状況		
	加担の回避		
	苦情解決	経営陣との懇親会	P.7
		理事長への手紙BOXの設置	P.15
	差別及び社会的弱者	働きやすい職場環境づくり	P.7
		スタッフの多様性	P.26
	市民的及び政治的権利	スタッフの多様性	P.26
	経済的、社会的及び文化的権利	スタッフの多様性	P.26
	労働における基本的原則及び権利	スタッフの多様性	P.26
労働慣行	雇用及び雇用関係	働きやすい職場環境づくり	P.7
		スタッフの多様性	P.26
	労働条件及び社会的保護	働きやすい職場環境づくり	P.7
		スタッフの多様性	P.26
	社会対話	経営陣との懇親会	P.7
		理事長への手紙BOXの設置	P.15
	労働における安全衛生	働きやすい職場環境づくり	P.7
	職場における人材育成及び訓練	法人内窓口の設置	P.25
		研修体制	P.7
		同職種間の連携強化	P.24
	インターナショナルクラブ	P.26	
環 境	汚染の予防		
	持続可能な資源の利用		
	気候変動の緩和及び気候変動への適応		
	環境保護、生物多様性、及び自然生息地の回復	周辺緑化、地域のクリーン活動	P.22-23
公正な事業慣行	汚職防止	第三者委員の選任	P.15
	責任ある政治的関与	相談・苦情解決の流れ	P.15
	公正な競争	品質マニュアル	P.20
	バリューチェーンにおける社会的責任の推進	品質マニュアル	P.20
消費者課題	財産権の尊重		
	公正なマーケティング、 事実即した偏りのない情報、及び公正な契約慣行	お客さまとともにページ	P.15-16
	消費者の安全衛生の保護	お客さまとともにページ	P.15-16
	持続可能な消費		
	消費者に対するサービス、支援、 並びに苦情及び紛争の解決	相談・苦情解決の流れ ISO9001の認証取得	P.15
	消費者のデータ保護及びプライバシー		
	必要不可欠なサービスへのアクセス		
	教育及び意識向上	家族の会クロス	P.15
	コミュニティへの参画	社会とつながるページ	P.10-13
		地域社会とともにページ	P.18-19
コミュニティ参画及び発展	教育及び文化	社会とつながるページ	P.10-13
	雇用創出及び技能開発		
	技術の開発及び技術へのアクセス	社会とつながるページ	P.10-13
	富及び所得の創出	社会とつながるページ	P.10-13
	健康	クロスハートバカンス	P.7
	社会的投資		

メディア掲載一覧

2014年4月～2015年3月までにご掲載いただいたものを紹介します。

テレビ・ラジオ

2014年10月8日	テレビ朝日「スーパー Jチャンネル」/外国籍スタッフの雇用
2014年10月24日	NHK「おはよう日本 関東甲信越」/キディ石川町・横浜
2014年11月22日	NHK「金曜EYE」大介護時代を乗り切れ/横浜市野七里地域ケアプラザ
2014年12月21日	BS-TBS「まるわかり!ニュース深掘り」/セカンドライフをどう生きるか

新聞・雑誌・ネットニュース

2014年4月15日	『潮見台ニュース』/横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2014年5月10日	『いきいき』/クロスハート幸・川崎
2014年5月15日	『潮見台ニュース』/横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2014年5月16日	『タウンニュース藤沢版』/クロスハート本鶴沼・藤沢デイサービス
2014年6月5日	『日本経済新聞』/障害をもつスタッフの雇用
2014年6月30日	『日本介護支援協会ニュース』/クロスハート幸・川崎
2014年7月15日	『建通新聞』/キディ鈴木町・川崎
2014年8月11日	『日経ビジネスONLINE』/素顔のチェンジメーカーたち(片山ます江)
2014年8月20日	『高齢者住宅新聞』/高齢者住宅投票 最多得票「クロスハート幸・川崎」
2014年8月22日	『CBニュース』/グレートカンパニー大賞受賞
2014年8月25日	『医療タイムス』/グレートカンパニー大賞受賞
2014年8月28日	『神奈川新聞』/外国籍スタッフの雇用
2014年8月29日	『シルバー新報』/グレートカンパニー大賞受賞
2014年9月3日	『高齢者住宅新聞』/グレートカンパニー大賞受賞
2014年9月5日	『タウンニュース』/人物風土記(足立聖子)
2014年9月20日	『介護ビジョン』/外国籍スタッフの雇用
2014年10月22日	『高齢者住宅新聞』/国際業務推進室の発足
2014年10月30日	『日本経済新聞』/ビジネスと福祉
2014年10月31日	『シルバー新報』/ビジネスと福祉
2014年11月7日	『朝日新聞』/クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜
2014年11月10日	『日経ヘルスケア』/高齢スタッフ雇用の取り組み
2014年11月14日	『タウンニュース』/小山明子氏講演会
2014年12月1日	『自治体国際化フォーラム』/外国籍スタッフの雇用
2014年12月20日	『介護ビジョン』/ビジネスと福祉
2015年1月1日	『週刊ポスト』/リビングオブザイヤー
2015年1月17日	『日本経済新聞』/キディ鈴木町・川崎
2015年2月1日	『月刊シニアビジネスマーケット』/クロスハート湘南台二番館
2015年2月5日	『ヨコハマよみうり』/クロスハート湘南台二番館
2015年3月24日	『財界』/片山ます江

INSTITUTIONS

施設一覧

特別養護老人ホーム事業

クロスハート栄・横浜



〒247-0014
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5
TEL:045-896-1234 FAX:045-896-1235

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル 神奈中バス「湘南ハイウェイ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分



クロスハート野七里・栄



〒247-0024
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31
TEL:045-897-3456 FAX:045-897-3457

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「犬山南」バス停下車、徒歩8分
又はJR根岸線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオポリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分



クロスハート幸・川崎



〒212-0007
神奈川県川崎市幸区河原町1-37
TEL:044-533-9400 FAX:044-533-9401

ACCESS
JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バス「JR川崎駅西口北86番乗り場」から乗車「都町」バス停下車、徒歩5分



クロスハート二階堂・鎌倉



〒248-0002
神奈川県鎌倉市二階堂267-67
TEL:0467-61-3345 FAX:0467-61-3346

ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「大塔宮」行「大塔宮」バス停下車、徒歩10分



クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-5
TEL:045-829-2345 FAX:045-829-2346

ACCESS
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分



グループホーム事業

クロスハート中・横浜



〒231-0056
神奈川県横浜市中区若葉町3-46-1
TEL:045-250-3511 FAX:045-250-3921

ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩8分
又はJR根岸線「関内」駅より徒歩10分



クロスハート田谷・栄



〒244-0844
神奈川県横浜市栄区田谷町1249
TEL:045-858-3330 FAX:045-858-3331

ACCESS
JR線「大船」駅下車、西口バスターミナル 神奈中バス「ドリームハイツ」、「立場ターミナル」、「戸塚バスター」行「田谷」バス停下車、徒歩3分



クロスハート金沢・横浜



〒236-0033
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-54-2
TEL:045-791-7223 FAX:045-791-7224

ACCESS
京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分



クロスハート宮前・川崎



〒216-0001
神奈川県川崎市宮前区野川3240-1
TEL:044-753-2345 FAX:044-753-2346

ACCESS
東急田園都市線「鷺沼」駅下車、東急バス「野川公園前」行「野川公園前」バス停下車、徒歩5分



クロスハート本鶴沼・藤沢



〒251-0028
神奈川県藤沢市本鶴沼3-11-39
TEL:0466-35-6622 FAX:0466-35-6633



ACCESS _____
小田急江ノ島線「本鶴沼」駅より徒歩10分
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鶴沼車庫」行「原」バス停下車、徒歩1分

クロスハート南・横浜



〒232-0011
神奈川県横浜市南区日枝町1-5
TEL:045-260-0566 FAX:045-260-0567



ACCESS _____
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分

クロスハート湘南台・藤沢



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行1-1-7
TEL:0466-41-2234 FAX:0466-41-2235



ACCESS _____
小田急江ノ島線、相鉄いずみ線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩15分

クロスハート石名坂・藤沢



〒251-0875
神奈川県藤沢市本藤沢1-10-14
TEL:0466-84-3033 FAX:0466-84-3031



ACCESS _____
小田急江ノ島線「藤沢本町」駅より徒歩10分

クロスハート円行・藤沢



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-13-1
TEL:0466-52-4330 FAX:0466-52-4331



ACCESS _____
小田急江ノ島線、相鉄いずみ線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩8分

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8961 FAX:0467-53-8964



ACCESS _____
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分

アリストージュ経堂



〒156-0052
東京都世田谷区経堂3-20-22
TEL/FAX:03-6413-6115(介護フロア直通)



ACCESS _____
小田急小田原線「経堂」駅より徒歩11分
又は小田急小田原線「千歳船橋」駅より徒歩11分

クロスハート湘南台二番館



〒252-0805
藤沢市円行2-25-1
TEL:0466-43-2700 FAX:0466-43-2701



ACCESS _____
小田急江ノ島線、相鉄いずみ線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分

クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001
神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1
TEL:045-716-6300 FAX:045-716-6329



ACCESS _____
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分

クロスハート栄・横浜



〒247-0014
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5
TEL:045-896-1243 FAX:045-896-1235



ACCESS _____
JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル 神奈中バス「湘南ハイツ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分

クロスハート金沢・横浜



〒236-0033
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-54-2
TEL:045-791-7266 FAX:045-791-7224



ACCESS _____
京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分

クロスハート本鶴沼・藤沢



〒251-0028
 神奈川県藤沢市本鶴沼3-11-39
 TEL:0466-35-8677 FAX:0466-35-6633



ACCESS
 小田急江ノ島線「本鶴沼」駅より徒歩10分
 又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鶴沼車庫」行「原」バス停下車

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023
 神奈川県横浜市磯子区森4-1-17
 TEL:045-750-5678 FAX:045-751-2322



ACCESS
 京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分

クロスハート幸・川崎



〒212-0007
 神奈川県川崎市幸区河原町1-37
 TEL:044-533-9410 FAX:044-533-9401



ACCESS
 JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バスJR川崎駅西口北86番乗り場から乗車「都町」バス停下車、徒歩5分

複合型サービスクロスハート港南・横浜



〒233-0011
 神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4
 TEL:045-823-4810 FAX:045-823-4811



ACCESS
 京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
 神奈川県鎌倉市十二所937-8
 TEL:0467-53-8963 FAX:0467-53-8964



ACCESS
 JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
 又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分

クロスハート湘南台二番館



〒252-0805
 藤沢市円行2-25-1
 TEL:0466-41-9500 FAX:0466-41-9501



ACCESS
 小田急江ノ島線、相鉄いずみ線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分

訪問介護・訪問看護事業

クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜



〒244-0842
 神奈川県横浜市栄区飯島町527-5-8
 TEL:045-342-4451 FAX:045-342-4452



ACCESS
 JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 江ノ電バス「戸塚駅」行「飯島上町」バス停下車、徒歩5分

訪問看護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011
 神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4
 TEL:045-823-1144 FAX:045-823-4811



ACCESS
 京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分

小規模多機能型居宅介護事業・複合型サービス事業

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
 神奈川県鎌倉市十二所937-8
 TEL:0467-53-8962 FAX:0467-53-8964



ACCESS
 JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
 又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分

クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001
 神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1
 TEL:045-716-6368 FAX:045-716-6329



ACCESS
 JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分

地域ケアプラザ事業

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023
 神奈川県横浜市磯子区森4-1-17
 TEL:045-750-5411 FAX:045-751-2322



ACCESS
 京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分

横浜市野七里地域ケアプラザ



〒247-0024
 神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31
 TEL:045-890-5331 FAX:045-890-5332



ACCESS
 JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「犬山南」バス停下車、徒歩8分
 又はJR京浜東北線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオポリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分

キディ鶴沼・藤沢 本園/分園



〒251-0031
神奈川県藤沢市鶴沼藤が谷1-7-8
TEL:0466-52-2345 FAX:0466-52-2346



ACCESS
江ノ島電鉄線「柳小路」駅より徒歩3分

〒251-0031
神奈川県藤沢市鶴沼藤が谷1-8-16
TEL:0466-52-2370 FAX:0466-52-2380



ACCESS
江ノ島電鉄線「柳小路」駅より徒歩3分

キディ古市場保育園



〒212-0052
神奈川県川崎市幸区古市場2-97
TEL:044-542-1711 FAX:044-542-1712



ACCESS
JR南武線「鹿嶋田」駅より徒歩8分

キディ石川町・横浜



〒231-0024
神奈川県横浜市中区吉浜町1-6
TEL:045-222-0880 FAX:045-222-0885



ACCESS
JR根岸線「石川町」駅北口より徒歩1分

キディ二子・川崎



〒213-0002
神奈川県川崎市高津区二子5-16-16
TEL:044-829-4567 FAX:044-829-4568



ACCESS
東急田園都市線「高津」駅より徒歩6分
又はJR南部線「武蔵溝の口」駅より徒歩13分

子育てキディ・洋光台



〒235-0045
神奈川県横浜市磯子区洋光台3-13-2-109
TEL:045-836-1225 FAX:045-836-1226



ACCESS
JR根岸線「洋光台駅」より徒歩1分、サンモール商店街内

キディ鈴木町・川崎



〒210-0801
神奈川県川崎市川崎区鈴木町3-2
TEL:044-246-0400 FAX:045-246-0401

ACCESS
京浜急行大師線「鈴木町」駅より徒歩2分

キディ百合丘・川崎



〒215-0011
神奈川県川崎市麻生区百合丘1-16サンフレ百合丘7-201
TEL:044-322-0510 FAX:044-322-0513



ACCESS
小田急小田原線「百合ヶ丘」駅より徒歩5分

キディ湘南C-X



〒251-0041
神奈川県藤沢市辻堂神台1-3-39
TEL:0466-30-3515 FAX:0466-30-3516



ACCESS
JR東海道線「辻堂」駅より徒歩5分

伸こう福祉会本部



〒232-0011
神奈川県横浜市中区日枝町1-5 4階
TEL:045-260-0568 FAX:045-260-0570



ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分

社会福祉法人伸こう福祉会



報告対象期間 2014年4月から2015年3月
発行 2015年4月
発行責任者 足立 聖子

本誌へのお問い合わせ

伸こう福祉会 総合案内所 勘里絵利奈
〒247-0014 神奈川県横浜市栄区公田町251-6
TEL: 045-890-6116 FAX: 045-890-6115
<http://www.shinkoufukushikai.com>